

LEAD125の車体は、都市部において高い機動性を発揮することを前提として下記を目標に開発しました。

乗員の快適性と大容量収納を実現した取り回し性に優れたサイズ

排気量とラゲージ収納容量のアップを図りながらも、従来からお客様に評価いただいている居住性と、取り回し性のよい車体サイズを保ち、さらに給油もしやすくしました。

●居住性

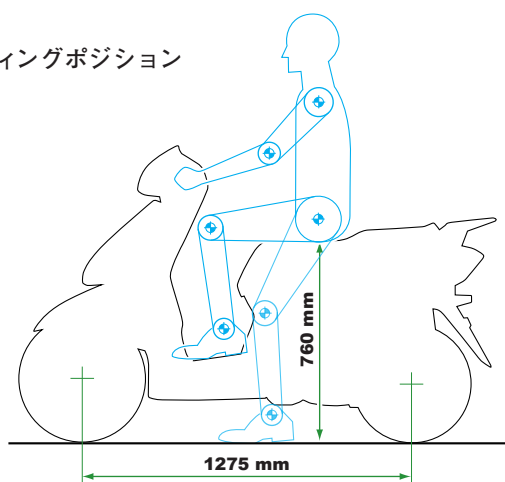
LEAD125は、主に市街地での使用を想定し、取り回し性に優れた小径タイヤ&ショートホイールベースの車体サイズとしながらも、ライダーとパッセンジャーの快適な居住性を追求しました。

ライダーの背筋が自然に伸びるライディングポジションは、アイポイントも比較的高くなるため、混雑した路上でも、より広く前方が見通しやすいという安心感を与えます。

760mmの腰掛けるような高さのシートとフラットなフロアにより、ライダーは大きく足や腰を曲げ伸ばしすることなく乗降が可能です。また、一時停止などの際にライダーがより路面に足を着きやすいように、内腿が当たる部分のシート形状を見直すとともに、フロア後方の幅を絞った形状としました。さらに、フロア前端からレッグシールドにつながる立ち上がり部の両端に切欠きを設けました。

これらにより、LEAD125は今まで以上に性別や服装を問わず、よりスマートに使用できます。

■ライディングポジション



パッセンジャー側では、手を自然におろした位置の左右にキャリア一体型のアルミダイキャスト製グリップを設け、上体の安定感に寄与します。また、足元には踏ん張りの効きやすい可倒式アルミダイキャスト製ピリオンステップを設け、その上面にシンプルで滑りにくいパターンを施しました。

■フロア前端の切欠き部

